



④④ポツテロ社の単板ガラス切断機（BK M、BCS、EVO）シリーズ⑤高い生産性と省人化を実現した合わせガラス切断機「548LAM」

TGM

giasstec 2024 出展

ポツテロ社ドイツ支部でデモ

TGM（東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260）は、イタリア・ポツテロ社の切断機を販売している。ポツテロ社はガラス切断機を中心に、面取り機、合わせガラス製造ラインなどを製造。年間の販売台数約1000台のうち切断機が半分の約500台を占め、切断機の販売で世界ナンバーワンを誇る。ドイツ・デュッセルドルフで10月22～25日に開催される「giasstec2024」に出展（ブース番号は14F23）。展示会場ではデモンストレーションを実施せず、会期中の同23～25日に会場近くのポツテロ社ドイツ支部でショールーム見学会を開催。最新機のデモを実施する。参加希望者は同社まで早目に連絡が必要。

単板ガラス切断機の対応ガラスサイズはレギュラーサイズ（3810×2540ミ）、ジャンボサイズ（6100×3355ミ）、中間のインターミディエイトサイズ（4600×3210ミ）などがあり、日本市場向けの96×72寸（2468×1829ミ）サイズに対応可能な「353BKMINI」も展開。顧客のさまざまなニ

ーズに幅広く対応する。「343」シリーズは量産型で、切断ライン構成（採板機、折り割り台と連動）。「353」シリーズは独立型で、限られたスペースでガラスの載せ降ろし、切断と折り割りが単独でできる。量産型にチルト機能を追加した「363」シリーズもある。

「BKMINI」はスタンダードモデルで切断に特化。①「353BKMINI」は「353BKMINI」など。②「BCS」はアップグレードモデルで、切断にオプションを装備することで、さまざまな加工が可能になる。③「EVO」はオプション二つに加えて、切断の速度も他のモデルより高くなる。標準機能は①異形切断②スキャン機能③CAD機能④自動板厚調

整機能。オプションは①Low E膜除去②自動ラベル貼り③レーザーマーキング。国内最大の導入実績は合わせガラス切断機は国内最大の導入実績がある。ベストセラーモデルの「520LAM」の「37」から、シリーズ最高の生産性と省人化を実現する「548LAM」までラインアップが豊富にあり、Low E膜除

去、20ミリの耳取り処理も可能。ポツテロ社はガラス切断機の老舗メーカー。ソフトと同社の設備を運動させることで、事務所からデータをコントローラ・シャトルシステムなどの自動倉庫装置に転送し、採板、切断まで自動で行うことができる。人手不足が深刻化していることから、自動化、省人化を目的として導入が進んでいる。自動倉庫装置は、ガラスの品種が増えても在庫スペース、切断スペースを有効活用できると好評だ。

独ショールームで見学会。ポツテロ社は「giasstec2024」に出展。会期中の10月23～25日にドイツ・グレーベンプローホにあるポツテロ社ドイツ支部（展示会場からシャトルバスで約30分）で招待者限定の「OPEN HOUSE」（ショールーム見学

会）を開催。最新の機械のデモンストレーションを実施する。

デモ機は、ガラス切断機「363BCSジャンボデュアルライン」と「548LAM-3820」、縦型ガラス研磨機「810BCS」、ガラス切断機「353BKMINI-R」。デモの内容は、「363BCSジャンボデュアルライン」で切断後、「548LAM-3820」で自動折り割り。合わせガラス切断、自動耳取り処理、斜め切り。「810BCS」はガラス厚3～55ミに対応し、傾斜ありで小口研磨、糸面処理ができる。「353BKMINI-R」はガラス厚2～19ミに対応する。ポツテロ社の営業・技術スタッフが現地でも顧客の要望に直接応じる。